

慣れ親しんだ校歌を斉唱する六郷小の児童ら 山鹿市



思い出の学びやに別れ

山鹿市 来春統合 六郷小で閉校式

山鹿市菊鹿町の六郷小で13日、閉校式があり、在校生や歴代の教員など約600人が校歌を歌い、思い出の学びやに別れを告げた。

六郷小は来春、近隣の城北、内田の2小学校と統合し、菊鹿小として再出発する。新校舎が敷地内に完成し、年明けに現校舎の解体が始まるのを前に閉校式を開催。児童代表4人が校旗を返納した。

池田幸春校長(57)は全校児童120人に「広い運動場で遊

び、授業で学び合う皆さんが大好きだった」と式辞。6年の市川真行君が「校舎がなくなるのは寂しいが、思い出は消えない」と別れの言葉を述べた。

在校生は詩や合唱も披露。「学校に続く坂道を毎日通ったことも大切な思い出」「ありがとう六郷小、未来に向かって菊鹿小」と声を合わせた。

六郷小は1969年創立。これまでに1836人の卒業生が巣立った。
(潮崎知博)